

(案)

令和2年12月21日

岩倉市長 久保田 桂朗 様

岩倉市総合計画審議会
会長 千頭 聡

第5次岩倉市総合計画案について（答申案）

令和2年8月3日付け岩秘発第1994号で諮問のありました第5次岩倉市総合計画案について慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

なお、計画の推進にあたっては、本審議会における意見などの趣旨を十分尊重するとともに、特に以下の事項に配慮し、将来都市像「健康で明るい緑の文化都市」の実現に努めるよう要望します。

特記事項

- 1 新型コロナウイルス感染症対策については、市民生活や市政運営に直結する喫緊の課題であることから、本計画の施策への反映は難しいものの、市民の暮らしの安全の確保、不安の解消のための対策を継続して講じていただきたい。また、コロナ禍を新たな時代のまちづくりの契機としていただきたい。
- 2 未来を担う子どもの教育や学びの位置づけを重視し、岩倉で育った子どもたちが経済的に自立し、また、金銭的なトラブルに巻き込まれないようにするため、幼い頃からお金の大切さを学ぶ機会や、成長に応じて必要な経済感覚を身に付ける機会の創出について検討していただきたい。
- 3 本計画の推進にあたっては、職員は広い視野を持つとともに、これまで以上に部署を越えた横断的な連携体制のもと取り組んでいただきたい。
また、計画を実効性のあるものにするため、新たな仕組みを導入し、市民とともに、進行管理を進めていただきたい。